

平成 29 年度 N P O 等による復興支援事業
いわて震災詩歌 2018 短歌募集

《応募方法》

- 応募作品 応募作品は 1 篇 5 首とし、冒頭に題名と氏名を明記すること
- 応募用紙等 A4 判原稿用紙 (400 字詰) または、インターネットによるメールでも受付可。但し、全て縦書きとし、メールは Word による添付文書とする。
- 添付書類 次の事項を明記した別紙を添付し用紙右上をホチキス止めとする。
①作品題名 ②筆名 (本名)
③生年月日・年齢
④職業または学校名 ⑤住所・電話番号
⑥岩手県在住以外の方は、岩手県との関わり合いを付記
- 応募資格 岩手県在住者、在住経験者、岩手出身者など岩手ゆかりの方
(被災地支援・復興支援のため来県された方も含める)
- 応募締切 平成 29 年 11 月 30 日 (消印有効)

※詳細は、いわてアートサポートセンターホームページまたはチラシ等でご確認ください。

◆応募先・問合せ◆

いわてアートサポートセンター・肴町事務所内
「いわて震災詩歌 2018」係
TEL. 019-604-9020 / kaze@iwate-arts.jp

主催 (特非) いわてアートサポートセンター
共催 岩手県歌人クラブ



鮎屋町界隈イベント情報

第 17 回 盛岡町家 de 手づくり市

てどらんご

2017 年 10 月 14 日 (土) - 15 日 (日)
10:30-16:00 盛岡市鮎屋町界隈

町家・お寺・湧き水が並ぶ風情溢れる街並みで、
大人も子どもも遊びましょう♪

主 催：もりおかワカものプロジェクト (通称もわっぷ)
問合せ：morioka_wakamono_project@yahoo.co.jp

※鮎屋町一部区間が歩行者専用道路・車両通行止めとなります。



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通 1 丁目 15-7 南大通ビル 3 階
TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146
E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

【肴町事務所・風のスタジオ】

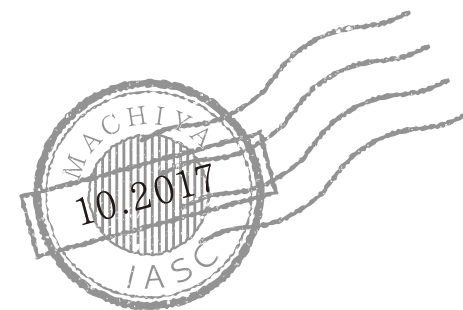
〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3 階
TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp
〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00~18:30 木・土 10:00~17:00
〈施設利用可能時間〉9:30~21:30

【もりおか町家物語館】

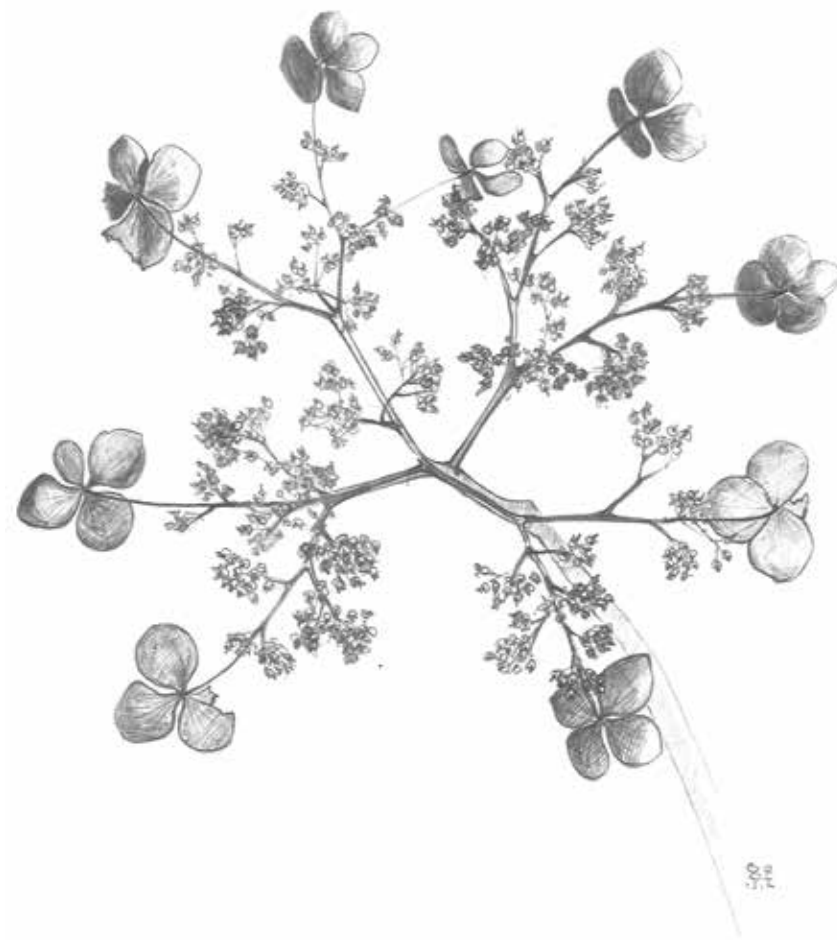
〒020-0827 岩手県盛岡市鮎屋町 10-8
TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp
〈開館時間〉9:00~19:00 (最終入館 18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は 21:30 まで
〈休館日〉毎月第 4 火曜 (休日の場合はその翌日) - 年末年始 12/29 ~ 1/3
〈入館料〉無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい!

肴町事務所・風のスタジオ窓口と、もりおか町家物語館案内所には、プレイガイドを設置しております。販売手数料 5% (消費税込み) で、イベントチケットをお預かりしています。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



もりおか町家・風の通信
10 月号



風のスタジオ イベント情報

劇団もりのべる
ここだけの話

日 時 10 月 28 日 (土) 14:00~ / 19:00~
10 月 29 日 (日) 14:00~

※上演時間約 60 分、開場は開演の 30 分前

会 場 いわてアートサポートセンター風のスタジオ
料 金 前売 800 円 当日 1000 円 高校生以下 500 円
問合せ morinobell@gmail.com
090-7660-0073 (制作)

海野経展 一無意無得

10 月 1 日 (日) ~ 10 月 31 日 (火)
もりおか町家物語館 文庫蔵 1 階 縁の資料室



海野経展—無意無得—

当館では毎年、鉈屋町界隈の著名な人物の中から一人に注目して、企画展を開催しています。今展では、盛岡市生まれの「海野経」氏を紹介し、海野氏の作品の中から素描を中心に秋らしい作品を集めました。優しさに満ちた作品をゆっくりとご鑑賞ください。

日時 10月1日(日)～10月31日(火)
9:00～19:00(最終入場18:30)
※10月24日(火)は休館日 **入場無料**
場所 もりおか町家物語館
文庫蔵1階 縁(ゆかり)の資料室
主催 盛岡市、(特非)いわてアートサポートセンター
協力 海野経美術館

MACHIYART2017

盛岡彫刻シンポジウム 野外展

日時 10月16日(月)～10月31日(火)
※10月24日(火)は休館日 **入場無料**
場所 もりおか町家物語館 風の広場
主催 盛岡市、盛岡彫刻シンポジウム実行委員会
(特非)いわてアートサポートセンター

◆てどらんど同時開催企画

上野法律ビジネス専門学校 盛岡再発見・真発信

UENO 街活プロジェクト『盛岡パワースポット再発見・真発信』
by 上野法律ビジネス専門学校 藪川そば、アロニア商品販売他

日時 10月14日(土)～10月15日(日) 10:30～16:00
場所 もりおか町家物語館 風の広場

第70回岩手芸術祭演劇部門「映像と演劇のコラボによる映画」上映
もりおか町家物語館 森荘已池劇場第4回公演 劇団赤い風第78回公演

映画「蛾と笹舟」 原作:森 荘已池 脚本・監督:坂田 裕一

日時 11月18日(土) 14:00～ / 18:00～
11月19日(日) 14:00～
場所 もりおか町家物語館 浜藤ホール
料金 (前売) 一般 1,500円, シニア・学生 1,200円
※当日券各300円増。全席自由。
※発売開始 10月10日(火)

★詳細は次号!

MACHIYART2017 町家のアート動物園

9月2日(土)から25日(月)まで、「MACHIYART2017 町家のアート動物園」を開催しました。身近な存在である「動物」をテーマに、大正蔵2階 時空の展示室には東北地域で活躍する若手や障がいのある作家の招待作品、風の広場には盛岡で長年活動を続けてきた盛岡彫刻シンポジウムの作品が展示されました。また、作品公募をおこない、年齢も経歴も異なる29作家から多種多様な表現方法の39点の応募があり、全作品が館内各所に展示されました。アンケートには「蔵の雰囲気の中、とても落ち着いて鑑賞できました。」「盛岡でまたこのような機会があったら嬉しいです。」などのご感想をいただきました。大正蔵での美術展示や美術作品の公募は当館では初の試みでしたが、ご来場の皆様とさまざまな作品との出会いの場となったことと思います。ご来場いただきました皆様に心から御礼申し上げます。



もりおかお酒の学校 ビール編

③「世界中でもブーム到来! ビールと果物のおいしい関係」

日時 11月1日(水) 19:00～20:30 ★受付・開場は20分前
会場 もりおか町家物語館 浜藤ホール
講師 畹田洋一氏(株式会社ベアレン醸造所専務取締役)
受講料 各回3,500円(3種のビール、ドイツパンつき)
定員 24名(要予約)

[申込み方法] お名前(漢字表記/フリガナ)、年齢、電話番号を、電話またはメールにて、もりおか町家物語館までお知らせください。

カフェ DOMA

阿部佳則ペン画展 2017

10月1日(日)～29日(日)

★てどらんど開催日 延長営業
10月14日(土)、15日(日)
両日とも 10:00～17:00

営業 11:00～16:00

定休 毎週火・水曜日

※営業時間外も、施設開館中は見学可能です。
※臨時休業の場合もございます。営業時間はホームページ等でご確認ください。



阿部佳則ペン画展 2017
もりおか町家物語館 10月1日(日)～10月29日(日)
カフェ DOMA

「無意無得」。本当の意味は私自身よく理解していない。意味をつけることじたいが無意無得なのかもしれない。私なりにこれまでの父の人生を省みて、背伸びをせず、自分のあるがままに、楽しく生きるということかと勝手に解釈している。

絵画教室では、普段あまり言葉は発せず生徒さんの感性のまま筆を走らせ、たまにだまって一筆入れる教え方とか、子供、孫には絵を描くことを強制せず、描いたものを誉めるといふ。小さい頃に寺の小坊主の修行をしていたときの、父の祖父から教わったことが、いろんな指導に繋がっているのではないかと思うところである。

父の周りには、いつも多くの人が集まっていた。芸術仲間や高校教諭時代の教え子、仕事とはあまり関係のない人も。結構な夜な夜な飲みに行っては、いろんな人と知り合いになっていたようで、家を訪ねてくる人が多かった。

そのうちの一人O氏は、教諭の先輩後輩の仲で、しょっちゅう家に来ていた。その人は数学の先生で、テニス、釣り、登山と趣味も多く、私はその人の影響を大きく受けた。数学というよりは数字が好きになり、我家から初めて理工系(土木)の道に進むことになった。そのときも父は、自分が望んだ進路に関しては何も言わず応援してくれた。

海野三岳(父の大叔父)から「海野家からは絵かきをだすな」と言われながらも、やりたいことは達成するまでやってきた。祭りが好きで、30数年前には町内のお祭りを有志で起こし、舟っこ流しやあわしま・こんせい祭り等も自分がやりたいと思うと、周りの人をその気にさせていつのまにか始めている。今、それらの祭りを子供が引き継いで楽しんでいる。いろんなことに興味を引かれ、油絵だけではなく写真、彫塑などにも手を出していた父も2019年には生誕100年に当る。

今回、もりおか町家物語館で「海野経展」を開催していただくことになり、油絵だけでなくいろんなことを好きなようにやってきた父を感じてもらえれば幸いである。

海野経の長男 伸